

レジ袋削減協働アピールに係る総括について

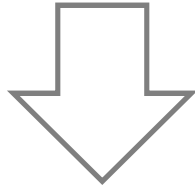
長野県環境部資源循環推進課

「レジ袋削減協働アピール」における県の目標

【消費者や事業者の活動を積極的に支援し、共に３年以内にマイバッグ等持参率 80%以上、レジ袋総使用量対前年度比減を目指す】

取組	県としての評価、今後の方向性
【マイバッグ持参率調査】	<p>○評価</p> <p>協働アピール開始時（H25.9）：66.0% 終了時（H28.9）：64.7%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開始時と終了時を比べ持参率が伸び悩んだ。 ・現状でも 6 割超の人がマイバッグを持参していることから意識の定着化という面において一定の効果があつた。 <p>○今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイバッグ持参率が低下しないように取組を継続（支援）する必要がある。
【レジ袋総使用量調査】	<p>○評価</p> <p>レジ袋使用量増減（H25）：△115.7 トン（前年度比較） （H26）：2.3 トン（ 〃 ） （H27）：△119.4 トン（ 〃 ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H26 年度使用量実績は前年度と比較し微増だったが、H27 年度は大幅減となり事業者の目標が達成された。 ・使用量調査の回答数値について、前年度数値との比較検証等が十分でなかったため数値の信頼性に問題があつた。 <p>○今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査の必要性について検討する必要がある。
【啓発活動】	<p>○評価</p> <p>店頭啓発：平成 27 年度 実施回数 161 回、参加人数 663 人 運動開始時（H20.10）からの累計 1,204 回 5,827 人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政と消費者の協働でスーパー等の店頭で啓発ティッシュを配付し、マイバッグ持参を呼びかける啓発活動を毎月 1 回実施した。

	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーの来店者に直接啓発することで啓発の効果は高かった。 ・地域によって消費者団体の解散などにより、行政のみの啓発になった。 <p>○今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の実情に応じた効果的な啓発の方法、啓発対象の明確化を意識した取組推進の必要がある。 <p>○その他次のような啓発活動を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生向けの啓発 (新入生オリエンテーションでの啓発、ワークショップなど) ・エコバッグデザインコンテストの開催(岡学園と共催) ・各種イベントでのエコバッグ作り体験 (abn ゴールデンフェスタ、環境フェアなど) ・各種媒体での PR (信濃毎日新聞での広告やチラシ、abn での CM など)
【事業者との意見交換】	<p>○評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レジ袋削減の取組み等について、事業者を訪問しての意見交換を実施した。(H26.27 県内に本社のある企業を中心におよそ 20 社訪問) ・3R についての基調講演や意見交換を含んだ事業者向けの研修会(H26.11)などを実施することで事業者支援を行った。 <p>○今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な訪問等を通じて、事業者の取組の促進を図っていく必要がある。
【協議会、地域懇話会の開催】	<p>○評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会を、アピール実施後に 1 回開催(H26.8.21)し、取組の検証を行った。 ・地域懇話会は合計で 27 回開催され、当初は全県で実施されていたが、徐々に特定の地域に限定されてきた。 ・協議会及び地域懇話会ともレジ袋有料化の取組を求める傾向が強かったことで、事業者の参加が少なくなった。 <p>○今後の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に協議会を開催し、取組の検証を行う必要がある。



～県としての総括（今後の方向性）～

【今後もレジ袋削減の取組み継続を望む声が多いため、引き続き削減を推進していく】

- ・ 新たな目標の設定
- ・ マイバッグ持参率の向上への取組強化
- ・ 地域の実情に応じた効果的な啓発
- ・ 定期的な協議会の開催 など

【協議会の活動にごみ減量化の取組を加える】

- ・ 1人1日当たりのごみ排出量の少なさ日本一の継続
- ・ 食品ロス削減の取組 など